

陽の里



発行 平成18年1月15日

社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター

サンビレッジ

No.90

テーマ サンビレッジ大垣開設に向けて～住み慣れた地域で～



▲中庭に差し込む朝日

構造改革特区におけるサテライト型 特別養護老人ホームについて

大垣市長 小川 敏



大垣市はこのほど、サテライト型特別養護老人ホームについて国の認定を受けました。これは現在、国が行っている構造改革特区制度に基づく認定で、各地域の特性に応じて規制を一部緩和し、様々な分野で地域の活性化を図ろうとするものです。

これにより、小規模な入所サービスが提供され、同時に通所介護や介護予防サービス等を行うことができ、今までの高齢者ケアに比べ個別性を重視した介護となり、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けていけるようになります。また、地域と密着している点からも、交流の輪が広がり、関わり合いが増えていくことも期待されています。

介護保険制度も平成十八年度改正に向けて進んでおりますが、今後更にサンビレッジ新生苑が地域福祉の拠点として発展されることをお祈りいたします。

新年あけまして

おめでとうござります

社会福祉法人新生会 理事長 石原美智子

皆様にはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年には社会福祉法人・新生会が誕生して30年を迎えます。30歳は人間なら成人式を済ませて10年、まさに人生の成熟期です。初代の理事長がこの世に老人の極楽を、と理想を掲げて歩みだしたその事業が正しい歩みをしてきたかを振り

返る年でもあります。

池田町内に特養のサンビ

レッジ新生苑を中心にしていくつもの在宅サービスが併設され、周囲にはグループホームが点在し、池田山麓には日本で初の木造平屋建ての有料老人ホームも仲間入りしました。また、掛

斐川の辺にはサンビレッジ国際医療福祉専門学校が3学科を持つに至りました。春には国のモデル事業「構造改革特区」として大垣市に初めての事業展開をします。これはサンビレッジ新生苑を利用している大垣市に籍のあるお年寄りの、お里帰りの制度です。

池田町では長い歴史の中

池田町では長い歴史の中

で住民と共にお年寄りを支えてきましたが、大垣市でも住民と共にある施設を目指していくために「地域共生委員会」を立ち上げました。施設とは地域と共にあるもの、地域のためにあるものです。

サンビレッジ大垣は個室ユニット型18ベッド、短期入所3ベッド、グループホーム6

ベッド、10人のデイセンター、訪問看護・介護、そして配食も含めて800食可能な厨房が出来ます。

桜が満開の頃には、大勢の学生さんや母親に連れられた子ども達、各種のボランティアなどの人々で賑やかに過ごすお年寄りの姿に接することになるでしょう。

優しい社会を目指して

サンビレッジ大垣 施設長 桑原 陽

私たちはこれまでに、利

用者の故郷に帰る「故郷ドライブ」を実施してきました。故郷での久しぶりの知人、友人との再会に涙し、行き帰りの車窓からは懐かしい景色を食い入るように眺めるその様子から、誰もが故郷とは切っても切れぬものと実感してきました。

そこでサンビレッジ大垣では、大垣市出身の利用者が住み慣れた地元・大垣へ帰ることを一つの目的としています。また、単に地元に戻るだけでなく、高齢者も含めた地域で暮らす誰もが尊厳を保たれ、活き活きと自分らしく安心して暮らせる「優しい社会」を構築





▲サンビレッジ大垣 完成イメージ図

していきたいと考えています。その為に私たちは、30年の歴史の中で培ったケアのノウハウを活かし、利用される全ての方々と共に生活を創つていけるよう、ケアを工夫し福祉サービスの充足に努めていきたいと思えます。

さて、人に優しい社会を創る為には、サービスの充足のみではなく、これまでの縦割り制度を柔軟に横断し、保健、医療、福祉や教育関

係者が連携し、地域の方々と一体となりながら、様々な活動を展開することが求められます。

サンビレッジ大垣では、趣味活動の教室に子連れママさん達が集い、学校帰りの学生がふらつと立ち寄る。定年後のシルバーの方々が自らの技能や特技を活かしたボランティア活動を行い、若年障がいの方がクッキーを焼き、喫茶店のマスターとしてコーヒーを運ぶ。年齢も、障がいの有無も関係なく、皆がわいわいガヤガヤと楽しむ小さな街を創りたいと思ひ描いています。

過日、大学教授を始め、地元で活躍されておられる医療関係者、ボランティア団体、住民代表、大垣市男女共同参画推進室代表、在宅サービス事業者の方々と「地域共生委員会」を立ち上げました。

この委員会ではサンビレッジ大垣を一つの拠点としながら、いかに多世代の地域住民の皆さんと共に活動を展開するか、先のような夢を実現すべく検討しております。皆様方からもご意見やご要望をいただければ、そして一緒に安心できる社会を創っていただければ幸いです。

現在、以下の方々を募集しております お気軽にお問い合わせくださいませ

ボランティア募集

ご自身の特技や趣味を活かしたボランティア活動を担っていただける方

サービス利用者募集

グループホーム利用者 若干名
デイサービス利用者

スタッフ募集

福祉の仕事に興味のあられる方、
食事サービス配達員 各若干名

【詳しくは人事担当 森まで】

TEL:0585-45-5545 E-mail:sun-mori@shinsei-kai.or.jp

トピックス

当苑の多種多様のシルバーパワー、ほんの一部を紹介致します。



在宅の高齢者に、施設厨房で作った栄養バランスの良いお弁当を、配っていただいています。



新年を迎える際には、86歳になられる住吉さんの書道を毎年玄関に飾らせて頂き、来苑される皆様をお迎えしております。

サンビレッジ・フーズが 大垣市北方町にOPENします。

サンビレッジ・フーズ センター長 田口友子

食は健康維持の要。又、どなたにとつても、楽しみのひとつです。しかし、高齢になると、多かれ少なかれ身体的に問題を抱える中で、思うように食事が食べられない現実があります。

食は命と言われますが、過言ではないと日々痛感



▲新年のおせち料理

しています。

現在、サンビレッジの厨房では「食べていただきたいこそ、栄養」をモットーに手作りで飽きのこない「家庭の味」をめざし、食事作りに励んでいます。身体状態、嗜好に配慮し、たとえどのような状態であつてもできる限り、最後まで口から食事の美味しさを味わっていただくことが私達の願いです。

サンビレッジの厨房をご存知ですか？

「厨房」というと施設の利用者の生活の場から少し離れたところに位置するイメージですが、サンビレッジの厨房は少々変わつていて(？)、

レクリエーションを楽しむホール隣のデンと腰を据えています。ガラス越しに食事ができあがる、ホールには良い香りがいつも漂い、作る人と食べる人がいつも身近にあるのが最大の利点です。

その厨房も食事提供数の増加により、少々手狭になつてきました。

そこで、厨房機能の一部を大垣厨房に移転することになりました。

大垣厨房では、施設の利用者のもとより、地域で暮らす高齢者への配食サービスを中心に展開します。火が心配、糖尿病やえん下困難等、食事に関する悩みが解消されれば安心して在宅生活を送ることができると考えます。

配食サービスが地域に根ざしていくためには、バラ



▲白鳥神楽

スの良い、きめ細やかな個別対応が重要です。もちろん、「食べていただいてこそ・・・」という思いになんら変わりはありません。配達時の「おいしかったよ」のひとことに食を預かるものとして気が引き締まる思いです。

職員一同、一層の努力をしていきます。是非、大垣・神戸・瑞穂近郊の身近なサービスのひとつとして、宅配の食事サービスを加えていただけたら幸いです。